

2024 年度

事業計画書

収支予算書

(公社) 日本クレー射撃協会

* 2023 年度第 4 回理事会 (2024 年 3 月 5 日) 承認

2024 年度（令和 6 年度）事業計画書

自：2024 年（令和 6 年）4 月 1 日

至：2025 年（令和 7 年）3 月 31 日

[事業方針]

本年度は、パリ五輪出場枠（QP）が付与される ISSF 最終予選大会が 4 月 19 日よりカタールで開催される。派遣選手各位におかれては十分な調整を国内で行い、現地へ向かっていただきたい。

国内においては、去る 2 月 2 日に行われた第 2 回臨時社員総会において 9 名の理事が解任・辞任となり、2 月 21 日に行われた同総会継続会において、ブロック理事 3 名が補選され、3 月 5 日開催の第 4 回理事会において、解任された理事の後任役職者が選定された。

今後理事会では、昨年 10 月半ばに JOC へ提出した調査報告書で挙げられた各項目について、JOC の指導を仰ぎながら真摯に検証し、原因究明、責任所在の確認、再発防止策の検討等を行なっていきたい。また、調査報告書の検証と並行し、ガバナンスコードに従い、当協会における《ガバナンス・コンプライアンス・インテグリティ》の醸成に傾注し、役職員一丸となって公益法人に相応しい協会運営を目指していく所存である。

事業の詳細については後述の通り。

I. 事業内容

本会定款第5条に記載された7項目に基づき、各項目について記載の諸事業を実施する。

(1) クレー射撃の普及及び指導

1. 広報事業（機関誌・ホームページ・SNSの活用、その他各種取材への対応）

◆担当：事務局広報室

(1) 機関誌「ザ・シューターズ」発行

JSC助成事業として実施し、年間4回発行予定。掲載記事の更なる充実を図っていく。

(2) ホームページ運営

利用者の利便性向上を目的として、機関誌同様、従来よりも充実した情報発信に傾注。

(3) SNS活用

所属会員が協会からの発信情報を得やすいよう、利便性の向上に努める。

(4) メディア活用（YouTube、テレビ番組等）

若い世代にクレー射撃競技を啓蒙するため、YouTube動画の作成・配信に傾注する。

(5) 普及事業

昨年度に引き続きJOC補助金を活用し、アスリート委員会の協力を経て一般者を対象に、クレー射撃の普及イベント事業を実施する。

2. 加盟団体支援事業

◆担当：事務局

(1) ランニング・ターゲット部会、芸能文化人ガンクラブ、パラ・クレー部会の各部会へ助成金を交付する。

(2) 昨年度に引き続き、組織基盤が脆弱な沖縄県クレー射撃協会について、理事会承認を経て同協会の支援を行う。

3. 各種推薦業務の実施

◆担当：事務局

例年同様、ライフル銃所持推薦、散弾銃未成年所持推薦、技能講習免除推薦などの業

務を実施する。

4. 国民体育大会

◆担当：競技委員会、審査委員会

(1) 第78回国民スポーツ大会（佐賀）への参画。

◇会 期：2024年9月26日（木）～29日（日）

◇会 場：佐賀射撃研修センター

(2) 後催国体の開催準備

今後の予定は次の通り。

2025年度（令和07年度）第79回滋賀国体 ×

2026年度（令和08年度）第80回青森国体 ○ 女子選手編成

2027年度（令和09年度）第81回宮崎国体 ×

2028年度（令和10年度）第82回長野国体 ○

2029年度（令和11年度）第83回群馬国体 ○

5. ドーピング検査事業の実施（*JSC事業）

◆担当：医科学室

(1) 日本アンチドーピング機構（JADA）並びに日本スポーツフェアネス推進機構（J-フェアネス）と連携し、全日本選手権大会においてドーピング検査事業を行い、参加選手や協会関係者のアンチドーピング意識の啓蒙を図る。

(2) 公認コーチ指導員講習会や強化合宿時の座学において、アンチドーピングに関する講義を行い、アンチドーピングに関する正しい知識・認識の習得に資することとする。

(3) 受動喫煙に関して、各合宿時やコーチ講習会において徹底した指導を行っていく。

6. ガバナンスコード

◆担当：コンプライアンス室、事務局

競技団体ガバナンス・コードに基づき、各項目の遵守に向けて対応する。

(2) クレー射撃の全日本選手権大会及びその他の競技会の開催

1. 公式大会開催事業（ブロック別本部公式大会、本部公式大会、全日本選手権大会、地方公式大会、ランニング・ターゲット公式大会等の開催）

◆担当：競技委員会、審査委員会

☆春季本部公式大会①

2024年04月20日（土）～21日（日）：ニッコー栃木総合射撃場

☆春季本部公式大会②

2024年05月11日（土）～12日（日）：愛知県総合射撃場

☆夏季本部公式大会

2024年06月01日（土）～02日（日）：熊本県総合射撃場

☆ブロック本部公式大会①

2024年06月15日（土）～16日（日）：成田射撃場

☆ブロック本部公式大会②

2024年06月29日（土）～30日（日）：岡山県クレー射撃場

☆ブロック本部公式大会③

2024年07月14日（日）～15日（月・祝）：宮城県クレー射撃場

☆ブロック本部公式大会④

2024年08月03日（土）～04日（日）：長野県営射撃場

☆JOC ジュニアカップ大会

2024年08月11日（土）～12日（日）：神奈川大井射撃場

☆全日本女子・シニア選手権大会

2024年09月07日（土）～08日（日）：成田射撃場

☆第78回国民スポーツ大会

2024年09月26日（木）～29日（日）：佐賀県射撃研修センター

☆全日本選手権大会

2024年10月19日（土）～20日（日）：神奈川県立伊勢原射撃場

2. 地方公式大会

◆担当：競技委員会、審査委員会

☆その他 地方公式大会：234大会開催、RT大会：（*調整中）

（*RT：ランニング・ターゲット）

3. ランキングシステム

◆競技委員会

ISSF ランキングを模範とした全日本ランキング、従来のランキングを併行して運用する。

(3) クレー射撃に関する指導者及び審判員の養成並びにその資格の認定

1. ブロック講習会開催による審判員等の養成

◆担当：審査委員会

各ブロックにおける審判員講習会を実施し、1級審判員、2級審判員、公認射撃場指導員の養成を行う。

また、地方協会の審判員スキル向上のため、1級・2級審判員更新者についてもブロック講習会の受講を義務付ける他、ISSF 有資格審判員と国内審判員のステップアップを基本とした育成計画を検討する。

*ISSF：国際射撃スポーツ連盟

2. 国際審判員の養成（*JOC 事業）

◆担当：競技委員会、審査委員会

各ブロック・地方協会の審判員レベル向上と国際ルールの解釈を深めるために、ISSF 国際審判員養成講習会を実施する。

*開催日・場所については ISSF と調整中。

3. 公認コーチ養成講習会

◆担当：強化委員会

JSPO 公認による標記講習会を実施し、地方協会における指導者・コーチの養成に努める。なお、今年度よりコーチ3のカリキュラムを今年度内に作成し、JSPO へ認定申請を行う。

☆会 期：*調整中（11月～翌年2月頃で検討）

☆会 場：*1箇所にて実施

(4) クレー射撃に関する施設・用具等及び段級位の検定及び認定

1. 装弾、クレー標的、射撃場、放出機、スコアボードの検定・公認

◆担当：審査委員会

検定委員会規定・基準に則り、各種の検定会や諸手続きを行う。

2. 関連団体への指導や要望、情報交換

◆担当：審査委員会、総務担当理事、事務局

業界関係団体との各種懇談会等を利用し、統括団体としての指導や要望、情報や意見の交換をそれぞれ行う。

3. 段級位審査事業（段級位審査会の実施）

◆担当：審査委員会

例年通り、各本部公式大会・地方公式大会における段級位審査会を実施する。

4. 公認射撃場検定基準に基づく射撃場ランク付け

◆担当：審査委員会

公認射撃場検定基準に基づき、公認射撃場の評価判定及び更新手続きを行う。

(5) クレー射撃の競技力向上に関する事業

1. JOC 事業・JSC 事業の実施

◆担当：強化委員会

JOC の選手強化 NF 事業や JSC 助成事業として、次の事業を実施する。

☆JOC 事業

- ◇選手強化活動事業：国内合宿
- ◇コーチ力強化事業：コーチ派遣
- ◇次世代アスリート育成強化事業：チーム派遣、海外合宿
- ◇強化活動の DX 化促進支援事業

☆タレント発掘事業（JSC）

- ◇国内強化合宿事業（学生育成）

toto くじ助成を活用し、18歳からの若手選手の発掘及びユニバーシアード大会等国際大会を目指す選手の育成

2. 競技別強化拠点及び JISS との連携

◆担当：強化委員会

スポーツ庁より指定された競技別強化拠点について見直しを図ると共に、国立スポーツ科学センター（JISS）との連携を図り、昨年度に引き続きクレ射撃の科学的分析を行い、日本選手の競技力向上・技術分析に資する。

(6) クレ射撃スポーツの普及・発展に資するための補完事業として事業運営上必要な物品の販売

◆担当：事務局

協会グッズの作成・販売を行い、クレ射撃競技の普及・振興に資すると共に、財源確保に努める。

(7) その他、目的を達成するために必要な事業

1. マーケティング活動

◆担当：事務局（マーケティング室）

パートナーシップ規定を改定し、企業等へのアプローチを行う他、JOC との契約に基づくジョイントマーケティングを推進する。

2. JSPO、JOC、JADA、J-フェアネスとの連携

◆担当：強化委員会、事務局

上部団体等主催の各種研修会や諸会議へ参加し、情報や意見交換に努める。

3. ISSF、アジア射撃連合、アジアクレ射撃連盟、FITASC との連携

◆担当：強化委員会、競技委員会、事務局

ISSF 等上部団体主催の各種研修会や諸会議へ参加し、情報や意見交換に努めると共に、COMPAK 日本導入に向けて警察庁との折衝を大日本猟友会と共に引き続き行う。

4. スポーツ庁、内閣府からの指導

◆担当：総務担当理事、事務局

関係省庁主催の各種研修会や諸会議に出席し情報や意見交換に努めると共に、スポーツ庁や内閣府の指導に基づく諸手続を進める。

5. 個人や団体の資格審査

◆担当：総務担当理事、事務局

定款や定款の施行についての細則、入会・退会規定に基づく資格審査業務を行う。

6. 会計・総務・庶務

◆担当：総務担当理事、事務局

各委員会の統括、加盟地方協会・部会への連絡業務、会計・事務局の管理等を例年通り実施する。

また、専門委員会活動の活発化と（本部－ブロッカー－地方協会）間の意思疎通や連携強化を図る。

7. 奨励金事業

◆担当：競技委員会

奨励金規定に則り、優秀選手・チームへそれぞれ奨励金を配布する。

8. 各種表彰

◆担当：総務担当理事、事務局

表彰規定に基づき、本部・地方協会関係者を推薦・表彰する。

以 上

2024年度収支予算

(単位：千円)

区 分		今年度 予算額	前年度 予算額	予算対比
競 技	収 入	64,200	61,500	2,700
	支 出	41,200	39,500	1,700
審 査	収 入	19,573	21,790	-2,217
	支 出	3,215	3,790	-575
強 化	収 入	103,588	95,531	8,057
	支 出	107,058	102,531	4,527
総 務	収 入	12,861	12,861	0
	支 出	16,861	16,861	0
会費等	収 入	37,206	37,206	0
	支 出	0	0	0
管理費 その他	収 入	3,000	3,000	0
	支 出	71,594	68,706	2,888
合 計	収 入	240,428	231,888	8,540
	支 出	239,928	231,388	8,540
	収支差額	500	500	0

* 百円単位四捨五入